# Unity Physics Training Introduction to Cryostat

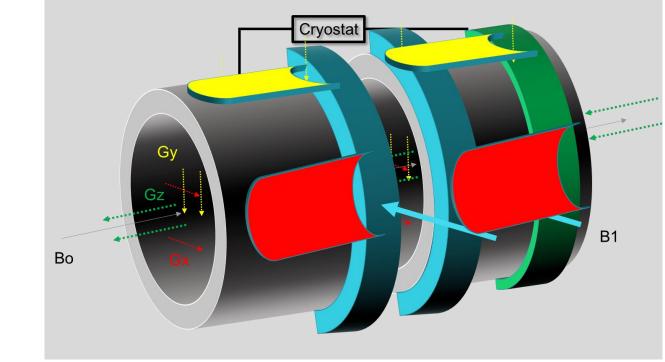
第2版:2021/6/30

E008222/01



# **Objectives**

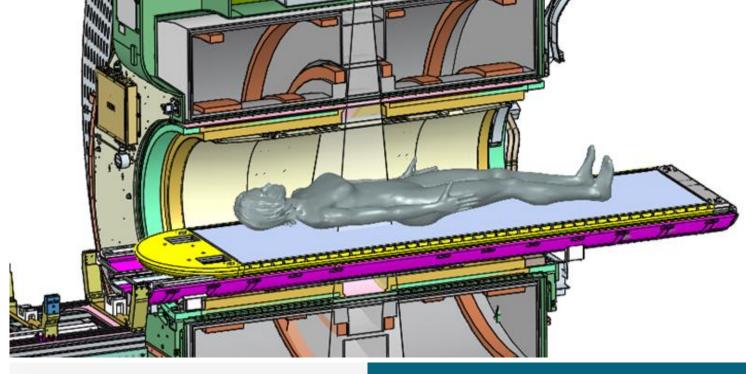
- 1. Unityクライオスタットの設計の 理解
- 2. クライオスタットによる測定上 考慮しなければならない事項の 理解
- 3. クライオスタットに関する治療計画装置の挙動の理解





# Lesson Objectives

- クライオスタットの構造
- Unityクライオスタットの構造





## Introduction

## Introduction to Cryostat Design

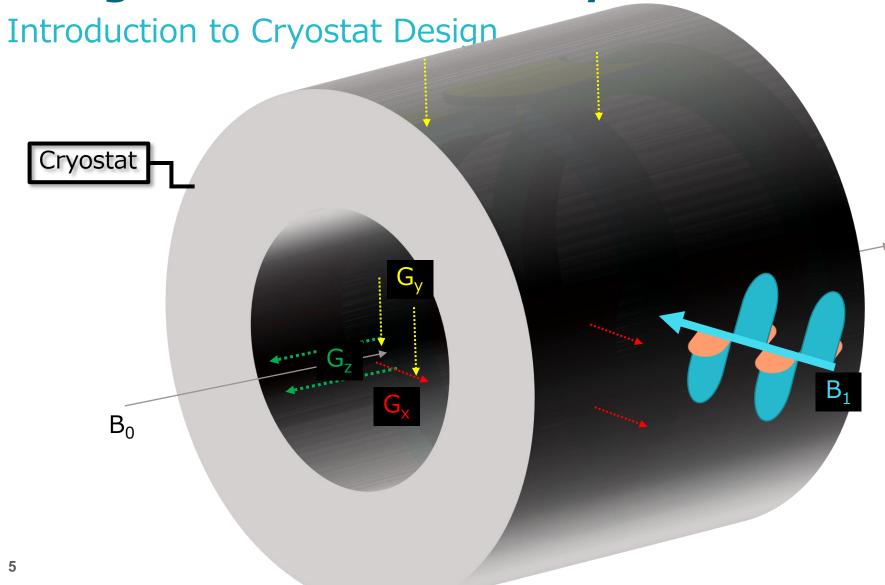
クライオスタットは、液体ヘリウムを使用して極低温を維持し、 磁石に超伝導特性を提供する断熱容器。 超伝導マグネットは、1.5 Tで均一な静磁場(B0)を生成する。

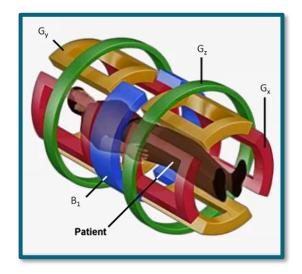
クライオスタット構造内にないコンポーネントには次のものがある

- ・RF送信コイル(B1)は、共振周波数でRFパルスを患者様に送る
- ・傾斜磁場コイル(Gx、Gy、Gz)は、NMR信号の局在化を可能に し画像を生成する





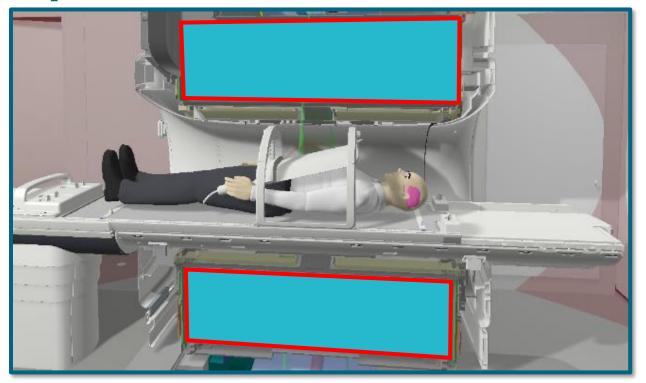






## Introduction to Cryostat Design

- 放射線照射システムを実装する際の考慮事項
  - ビームハードニング
  - 磁場の一貫性
  - 放射線ビームの一貫性

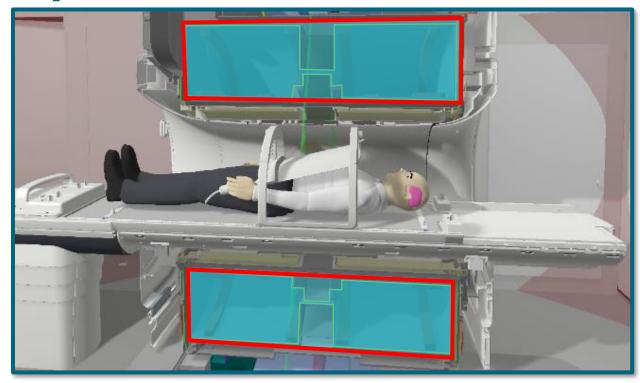




Anatomy of the Marlin Cryostat

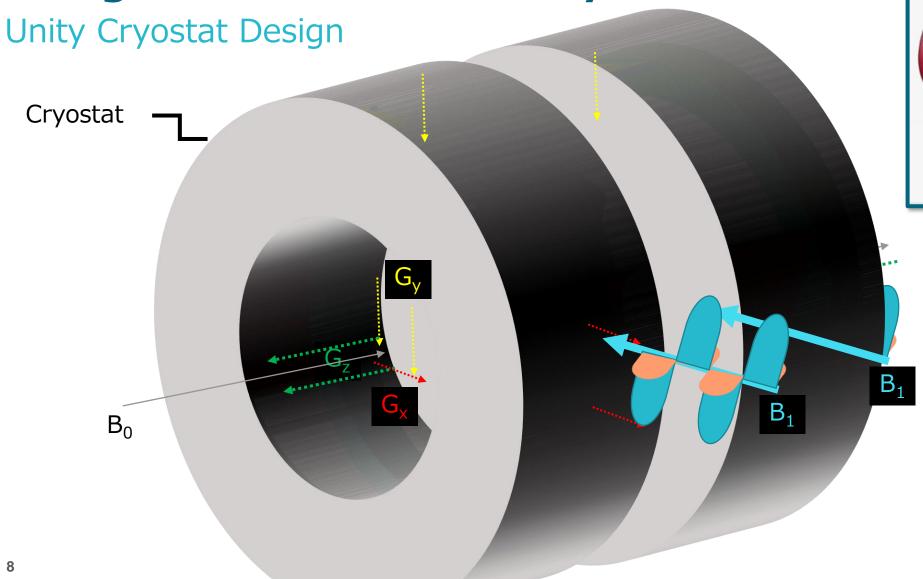
クライオスタットはアニュラス(Annulus)によって2つに分割されている

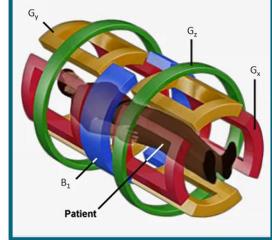
- ・クライオスタットを透過する厚みの最小化
- ・クライオスタットの壁はファラデーケージ (磁気シールド)の一部であり、MRによって 生成されたフィールドがビーム発生機構に 影響しないようにしている









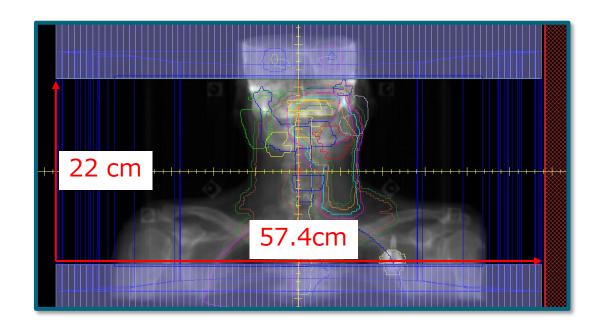


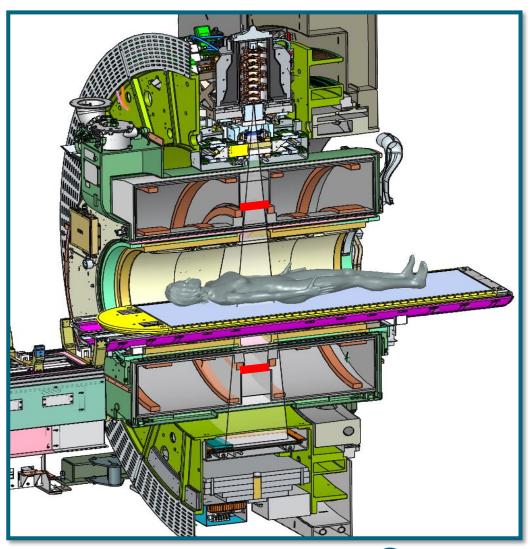


## Anatomy of the Unity Cryostat

#### アニュラスで接続された分割システム

- ビームはクライオスタット構造全体を透過しない
- Y方向の22 cmの最大フィールドサイズ



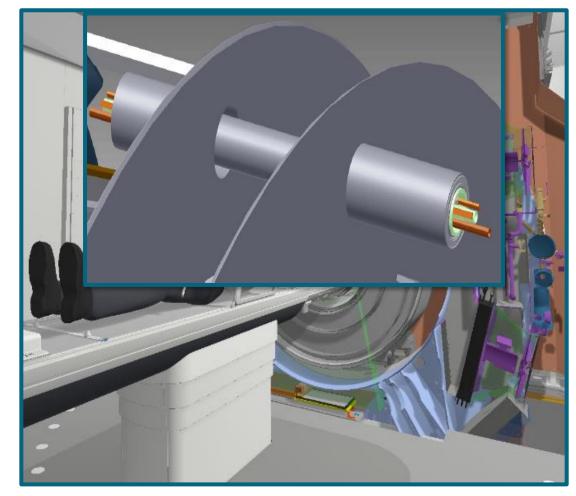




## Anatomy of the Unity Cryostat

#### クライオスタットパイプ

- ・ カウチの足側から見たときに右側の垂直から 13.2度に位置
- コイルの2つのセクションをつなぎ、超電導 ケーブルを運ぶ
- パイプの中心からアイソセンターまでの距離は 78 cm
- パイプ半径は2.54 cm



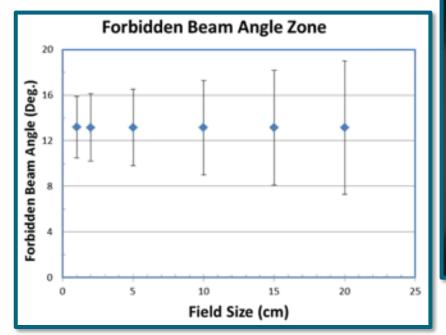


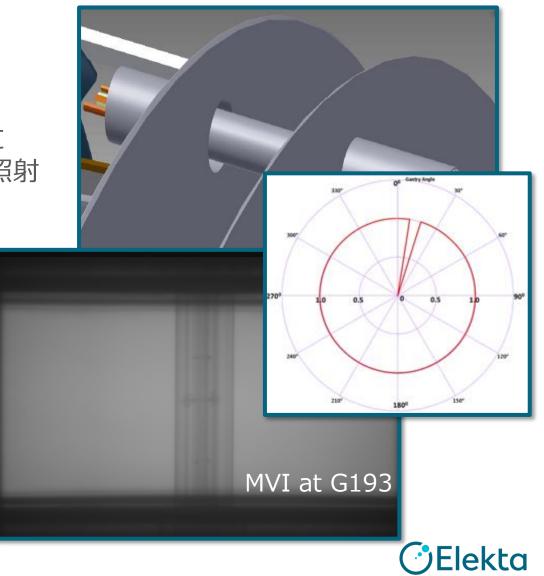
Anatomy of the Unity Cryostat

クライオスタットパイプは不均一で、密度が高い

Unityは、13.2度のガントリ角度だけでなく、パイプ上に 照射されている照射野サイズでは、それ以外の角度でも照射 を行うことはできない

• パイプから180度のガントリ角度は可能





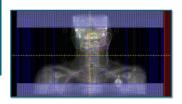
## **Summary** ~Design and Role of the Cryostat~

#### Cryostat



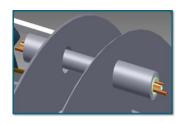
クライオスタットには、磁石に超伝導特性を付与 するために使用され、液体ヘリウムが充填されて いる

#### Annulus



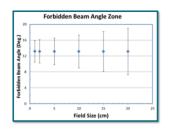
ビームは、クライオスタットのアニュラスを通過 する。 アニュラスは、2つのクライオスタットを接 続する。

#### Connection Pipe



コイル間をつなぐクライオスタットパイプは13.2 度に位置している

#### **Built-in Interlocks**

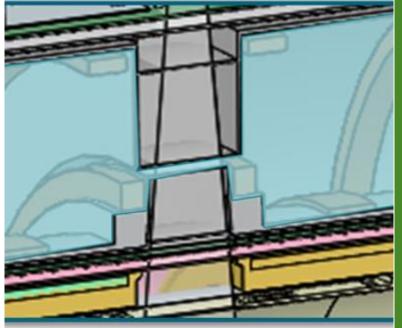


Unityコンソールは、パイプの場所とビームの制限 を認識する



- 不均一性補正
- ・ヘリウム充填率の影響

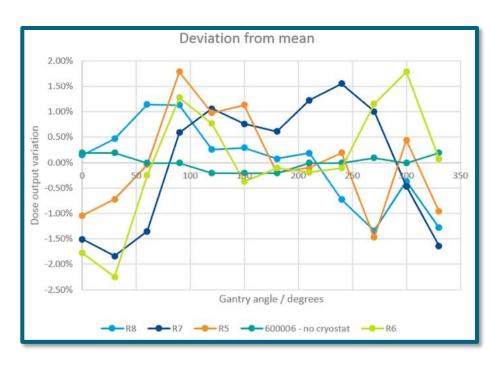




Variable Isolation

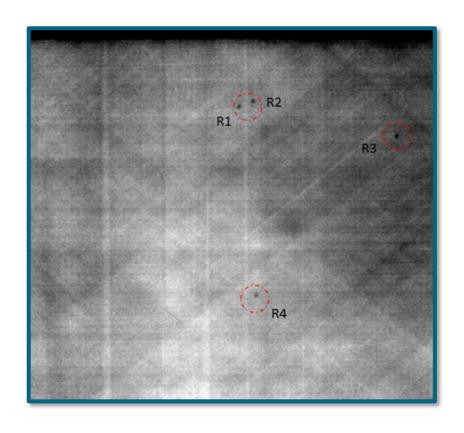
ビームがアニュラスを通過するときに影響する2つの因子

- 1. クライオスタットの不均一性
- 2. アニュラス内のヘリウム充填率





## Non-uniformity Correction



クライオスタットの構造は完全に均一ではない

- 製造誤差は、減衰の違いをもたらす
- 溶接によって引き起こされる

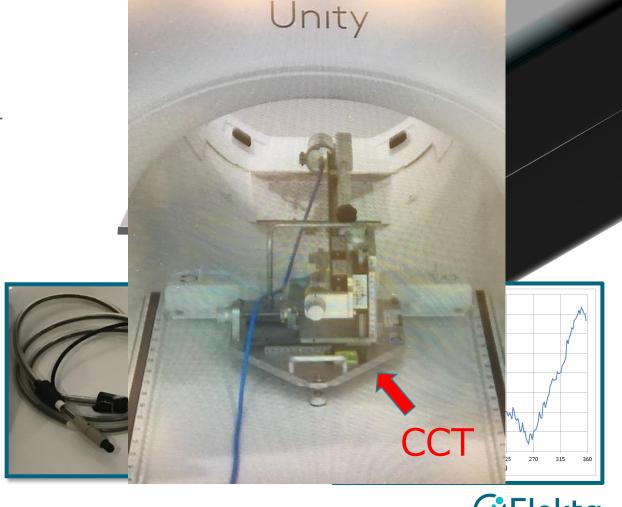
これらの理由から、クライオスタットの特性評価を行う。 具体的には、Cryostat characterization tool (CCT) を用い、Cryostat Transmissionを測定する。



Non-uniformity Correction

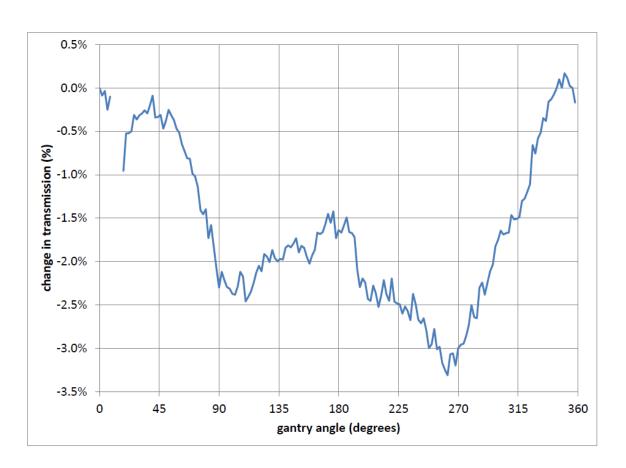
Cryostat Transmissionの測定方法:

- 1. Posteriorコイル、カウチ、ブリッジを取り外す
- 2. 電離箱にビルドアップキャップを装着しする
- 3. MVアイソセンタで電離箱をセットアップする
- 4. 2度ごとに10cm x 10cmの出力を確認する





## Non-uniformity Correction



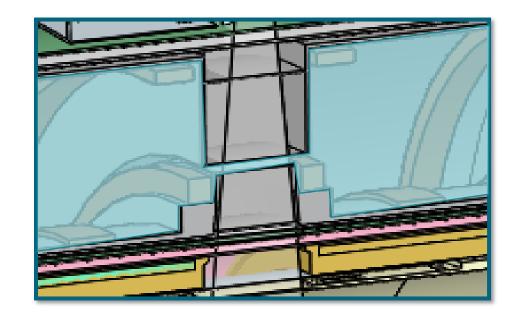
Cryostat Transmission測定結果:

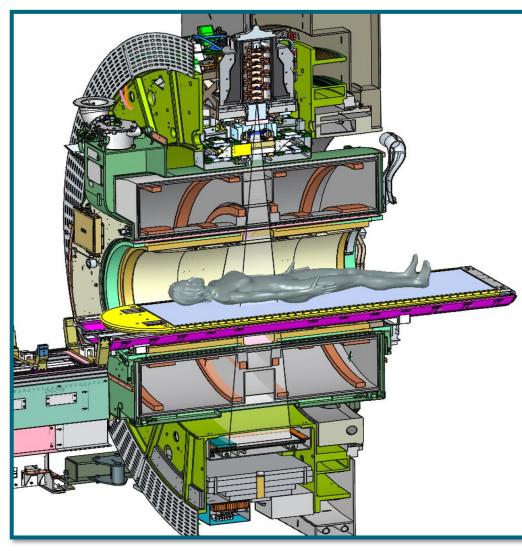
角度毎のトランスミッションマップを作成し、 Monacoが線量計算で考慮できるようにする



## Helium Transmission

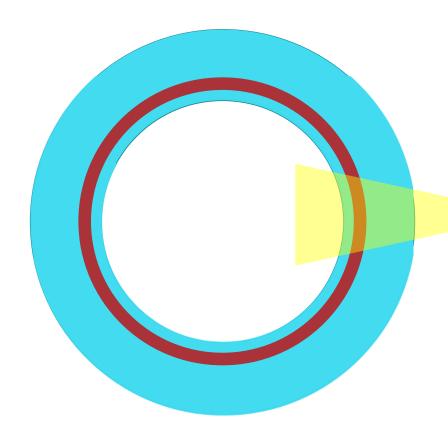
アニュラスにより、クライオスタット構造全体に液体ヘリウムを均一に分布させることができる







Helium Transmission



液体ヘリウムの量は、磁石の傾斜、停電などにより変化する 可能性がある

- 液体ヘリウムの減衰は透過を0.7~0.9%増加させます
  - ガントリ角度に応じて平均出力に影響を与える

注目すべきクライオスタットヘリウム充填率

- 100%フルで充填されている場合
- 93.2%アニュラスを完全に覆っている最低レベルのヘリウム充填率
- 66%エレクタが定める最低限必要な量G90 / 270のマシン出力をチェックするのに十分なヘリウム充填率
- 40%G90 / 270で均一なプロファイルをとなるヘリウム充填率
- 30%MRIを使用するために最低限必要

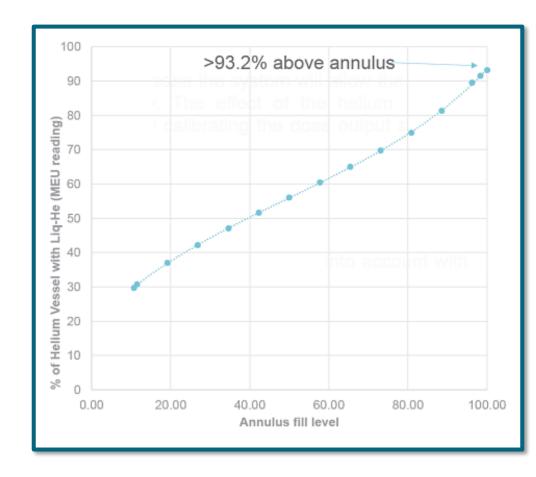


## Cryostat vs Annulus fill level

右のグラフは、クライオスタット充填率に対して非線形 に関連するアニュラスヘリウム充填率を表している

クライオスタットで前述した重要な値は、次のような アニュラス充填に関連している

Cryostat	Annulus
100%	100%
93.2%	100%
66%	66%
40%	34%
30%	11%





#### Helium Transmission

アニュラスのヘリウム充填率による2つの主要な考慮事項

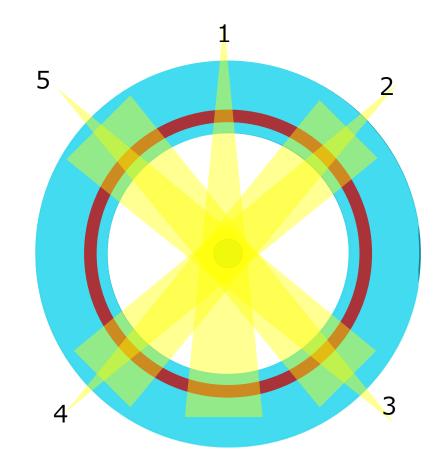
- 1. 照射中の絶対線量差
- 2. 線量校正時のガントリー角度に依存した違い

#### 調査した2つのケース

- 1. 同じMUで異なるガントリ角度から照射する5門ビームのアイソセンタでの平均線量を求める
- 2. マルチアングルビームでアイソセンタの平均線量を求める



## Helium Transmission



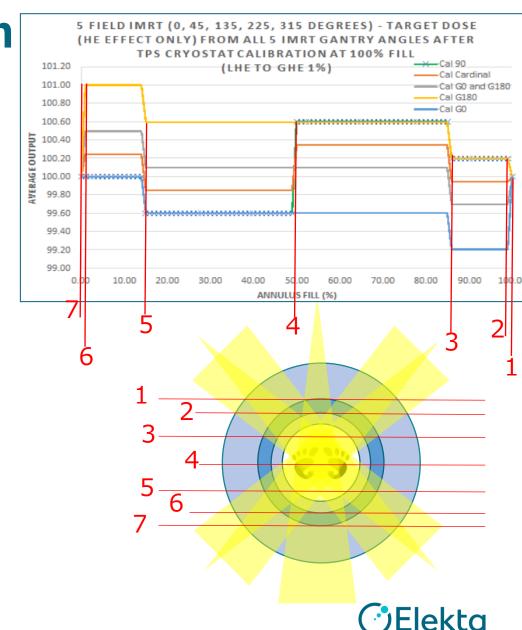
Annulus Fill	Beam 1	Beam 2	Beam 3	Beam 4	Beam 5
100%+	100 cGy				
~98%	101 cGy	100 cGy	100 cGy	100 cGy	100 cGy
~88%	101 cGy	101 cGy	100 cGy	100 cGy	101 cGy
~66%	101 cGy	101 cGy	100 cGy	100 cGy	101 cGy

Total	100%+	~98%	~88%	~66%
Dose	500 cGy	501 cGy	503 cGy	503 cGy



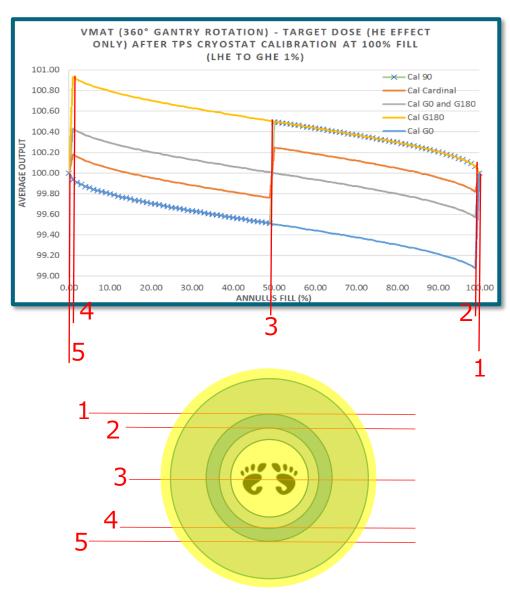
## **Helium Transmission**

- 5門での平均線量を使用した調査
  - 様々な線量校正のガントリー角度を検証
    - G90
    - G0,G90,G180,G270の平均
    - G0,G180の平均
    - G180
    - G0



## Helium Transmission

- マルチガントリーアングルでの平均線量を使用した調査
  - 様々な線量校正のガントリー角度を検証
    - G90
    - G0,G90,G180,G270の平均
    - G0とG180の平均
    - G180
    - G0





#### **Helium Transmission**

推奨される線量校正時のガントリー角度: G90またはG270

• 66~100%の充填率で検討

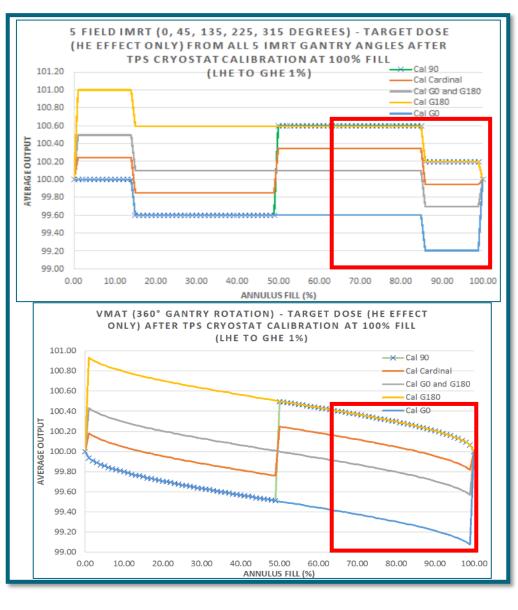
#### 5ビーム平均出力の変化:

- G90でのキャリブレーションでは0.6%
- G0でのキャリブレーションでは0.8%

## マルチガントリ角度の平均出力の変化

- G90でのキャリブレーションでは0.4%
- G0でのキャリブレーションでは0.9%

充填率はPhilips MR PCで測定された値





## **Summary** ~Cryostat effects on the MV Beam~

#### Cryostat Characterization



クライオスタットには、超伝導磁石と、磁石に超 伝導特性を提供するために使用される液体へリウ ムが充填されている

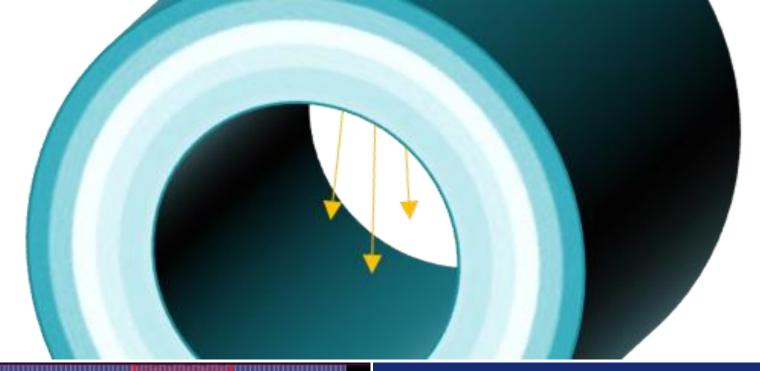
#### Annulus Helium Fill Level

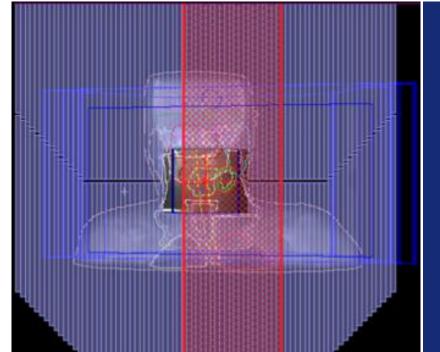


Unityのビームは、クライオスタットアニュラスを 通過するため、ヘリウムレベルが重要



- クライオスタット特性評価の適用
- クライオスタットパイプ





Treatment Planning Issues

**Application of Cryostat Characterization** 

TPSモデルはGPUMCD bmtmc jsonファイル内の2つのセクションを使用して、クライオスタットに基づく補正を適応する

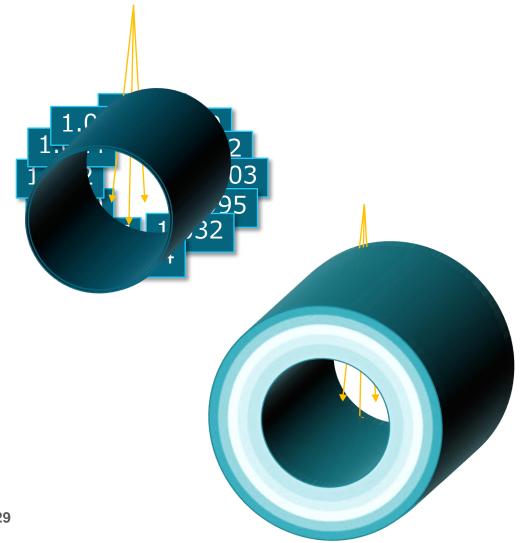
- 物質のリストとそれぞれのサイズ
- 360度のトランスミッションマップ

```
Name Date modified Type Size

2/3/2020 6:57 PM JSON File 24 KB
```

```
"CryostatShells": [
   "MassDensity": "pN+u46n0mt950tJ2oaco+w=="
   "MediumName": "qqXssKStNkhsqaNN6hER2qmzn3qVs81VuCew4sjuiO8="
   "OuterRadiusInMm": "Lphe17btQVDmgc3eSaJuew=="
   "ThicknessInMm": "Kkx10Da5acaUCprOSBfWCw=="
   "MassDensity": "YSpeU9aA7hqld24vVRrLAA=="
   "MediumName": "MYOnox/ufFpbLYvCJcuGKg=="
   "OuterRadiusInMm": "iXqc968jZ8RsrkCF37Xq9q=="
   "ThicknessInMm": "F/mgtpWH/mKyQ0A2Ih0hWg=="
   "MassDensity": "eyAs0Hg8Fg66z08nyS0Vsw=="
   "MediumName": "wMVZT1AUug+obp7+kV/0Gg=="
   "OuterRadiusInMm": "I9vcOjeW+5umz2lcFpLEyQ=="
   "ThicknessInMm": "705nhrtonIROHxQF9Agxng=="
             "CryostatCorrectionMap": {
              "ShiftInMm": 0.0.
   "OuterRa
              "LengthInMm": 2000.0,
   "Thickne
              "RadiusInMm": 701.38125,
              "NumAzimuthalPixels": 360.
   "MassDen
              "NumLongitudinalPixels": 1,
              "Values": [
   "OuterRa
                1.0,
   "Thickne
                1.0007972098,
                1.0015944196,
   "MassDen
                1.0023916294000002,
   "MediumN
                1.0031888392000001,
   "OuterRa
                1.003986049,
                1.0040488392,
                1.0041116294.
                1.0041744196,
                1.0042372098,
                1.0043,
                1.00436,
                1.00441999999999999
                1.00448,
                1.00454,
                1.0046,
                1.0046765121999999,
                1.0047530244.
                1.0048295366,
                1.0049060488000001,
                1.004982561,
                1.0050822122,
                1.0051818634,
                1.0052815146,
                1.0053811658,
```

**Application of Cryostat Characterization** 



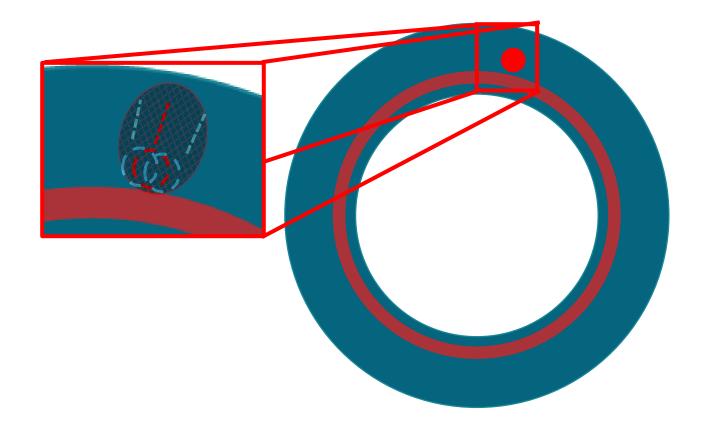
#### 計算手順の概要:

- 1. クライオスタットの特性評価に基づいた トランスミッション補正マトリックスの 構築
- 2. クライオスタットの「補正シリンダー」 を通る個々の粒子経路を追跡する
- 3. 粒子の重みづけによって24層に補正さ れたクライオスタットシェルを介して モンテカルロ計算を実行する



## Pipe Exclusion

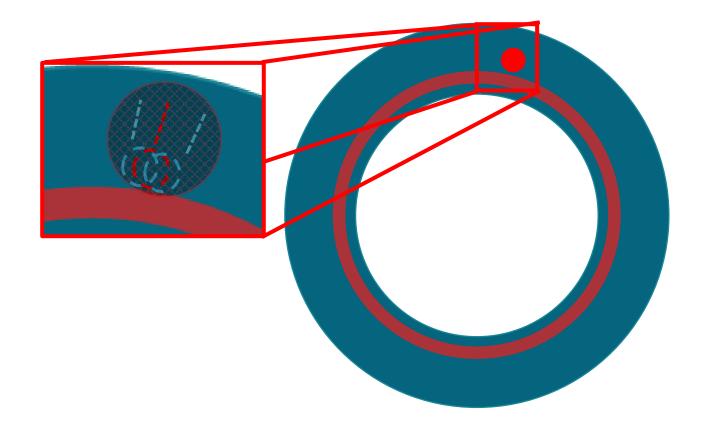
- Unityは、線源からのビームの角度投 影を使用して、ガントリ角度の関数 として「保護ゾーン」を決定する
- 最終的な完全除外ゾーンは楕円形になる





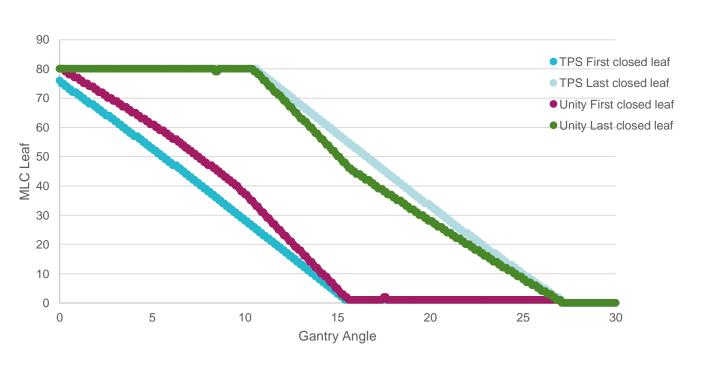
## Pipe Exclusion

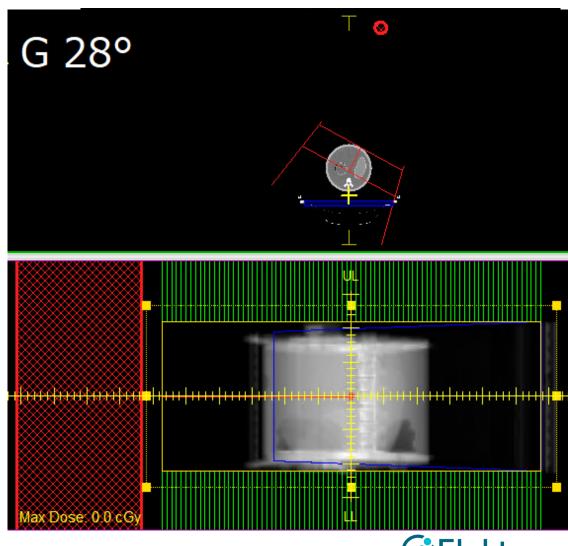
• Monacoは、「保護」エリアを単一の 円柱モデルとしてモデル化して、回避 ゾーンを提供する





Pipe Exclusion

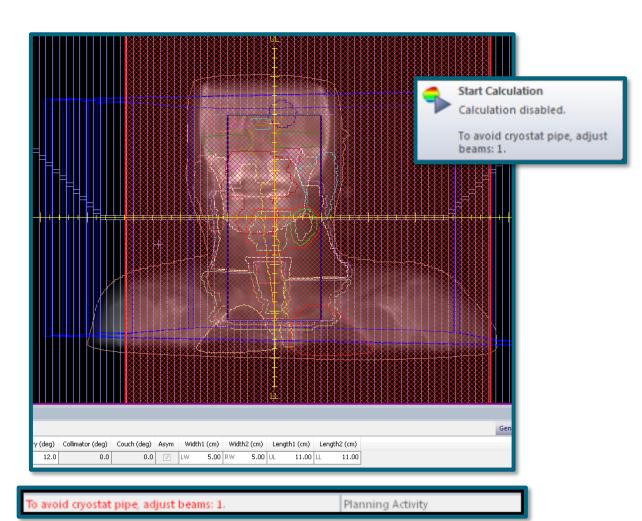






## Pipe Exclusion

- パイプは、BEVディスプレイから赤のハッチングバーとして表示される
- コンベンショナル照射の際、Monacoは線量 計算を無効にし、エラーの原因となっている ビームを編集するよう警告する

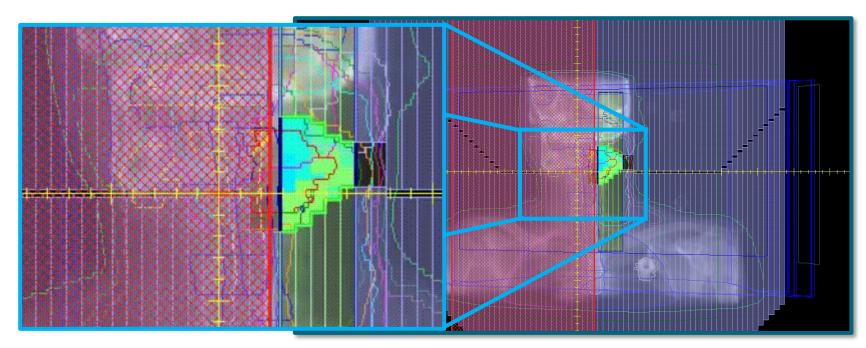




## Pipe Exclusion

## IMRT最適化中:

- ダイアフラムがクライオスタットパイプを塞ぐ
- ガードリーフも開く





## **Summary** ~Cryostat Model in the TPS~

#### Virtual Cryostat Model



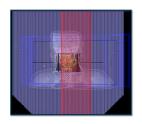
クライオスタットアニュラスモデルは、24層の シリンダーシェルから構成されている

#### **GPUMCD Particle Weighting**



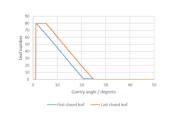
クライオスタット補正は、仮想シリンダーシェルトランスミッションモデルに基づいた粒子重み付けを使用して実行される

#### Pipe Protection



Monacoでは、クライオスタットパイプを通過する ビームを作成することはできない

### **Beamlet Optimization**



Monacoは、患者様に達する前にパイプを通過する ビームレットを最適化しない。 パイプはダイヤ フラムを使用してブロックされる。



# Thank you

